



世界の子どもたちの防災協働学習における言語グリッドの利用

防災世界子ども会議 (NDYS) プロジェクト実行委員会
NPO法人 グローバルプロジェクト推進機構 JEARN
協力：関西学院大学理工学部北村研究室

活動内容

世界の子どもたちの協働による防災教育

NDYSでは、世界の子どもたちがインターネットを介してコミュニケーションをとり、防災学習に取り組んでいます。実践プログラムである災害安全マップづくりなどの成果発表の場として、テレビ会議を通じた、NDYSフォーラムを開催しました。また兵庫を出発点として、継続して世界各地で国際会議を開催し、交流を深め、最終章としてNDYS宣言を採択しました。

世界的な教育ネットワークのインターネットフォーラム（掲示板）やテレビ会議システムを協働学習のツールとして活用し、情報交換をおこなっています。これにより地球規模の課題を世界の子どもたちが協働でとりくむ防災協働学習を推進することができま

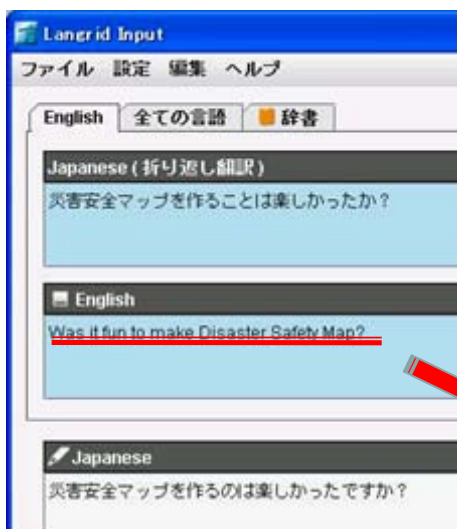


人と防災未来センターでのひょうご e-スクール・テレビ会議の様子

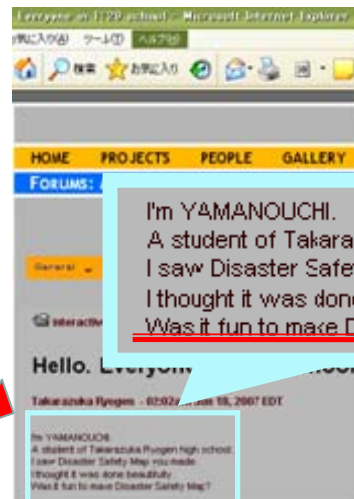
言語グリッドの利用

Langrid Inputを使った協働学習支援

外国語が不得手な子どもたちの協働学習のコミュニケーションツールとして、Langrid Inputを使用しています。機械翻訳の精度をあげるために防災専門機関提供の防災辞書を組み入れ、防災教育に特化したコミュニケーション支援を行っています。英語⇄フランス語などの多言語変換も可能です。



Langrid Input



iEARNインターネットフォーラム



防災世界子ども会議

「防災世界子ども会議」は iEARN (アイアーン) のプロジェクトです。iEARN の日本の窓口である JEARN (ジェイアーン) の防災世界子ども会議プロジェクト実行委員会が運営センターとなっています。
連絡先：岡本 和子 【ndys@jeam.jp】